

さいたま市オーガニックビレッジ宣言



さいたま市は、大規模な緑地空間である見沼田圃や荒川、綾瀬川、元荒川地域に広がる豊かな水田地帯を中心に優良農地が確保され、県内有数の農地面積を誇っています。

ゼロカーボンシティの実現を掲げる本市において、食料や農業の生産・流通に伴う環境負荷の軽減の取組である有機農業をはじめ、化学肥料・化学農薬を低減させる生産体系を展開していくことは重要です。

そこで、国の「みどりの食料システム戦略」も踏まえながら、慣行農業と有機農業のお互いの農法を理解・尊重し合いつつ、これまで培ってきた栽培技術やノウハウを生かし、農業者が有機農業に参入しやすい環境を整えていくとともに、有機農業者だけでなく、関係事業者や消費者なども含め、地域ぐるみで有機農業のさらなる拡大に取り組んでまいります。

人口135万人を抱える本市だからこそできる有機農業や環境に配慮した都市型農業の実現に向けて、ここに「オーガニックビレッジ宣言」をします。

令和7年11月8日

さいたま市長 清水 勇人